

大和証券グループ 会社説明会

2015年9月

株式会社大和証券グループ本社
執行役員 金子 好久

Daiwa Securities Group

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2015年9月末現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

目次


I. 大和証券グループについて	・ ・ ・ P	3
II. 新中期経営計画	・ ・ ・ P	7
III. 2015年度第1四半期連結業績	・ ・ ・ P	16
IV. 資本政策／株主還元	・ ・ ・ P	20
V. 大和証券グループの独自性	・ ・ ・ P	24
Appendix	・ ・ ・ P	30

I. 大和証券グループについて

会社概要

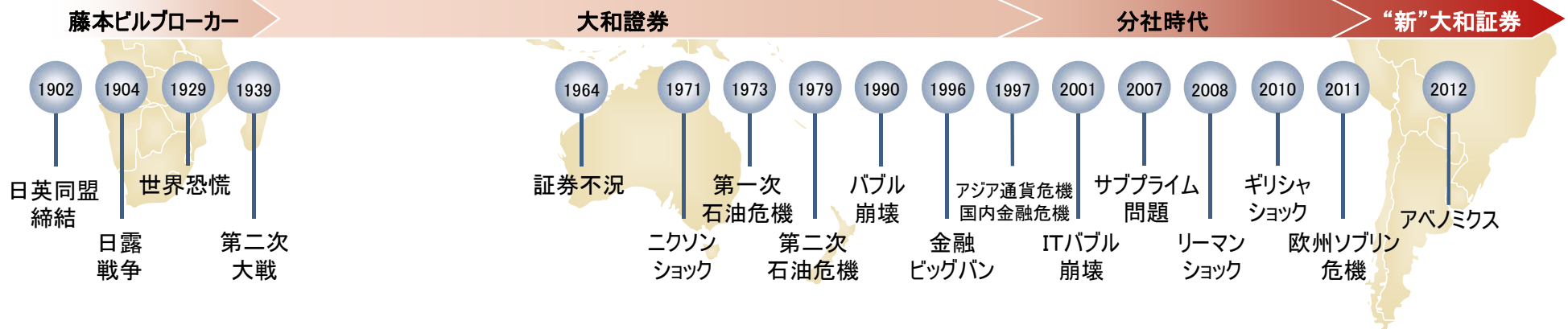
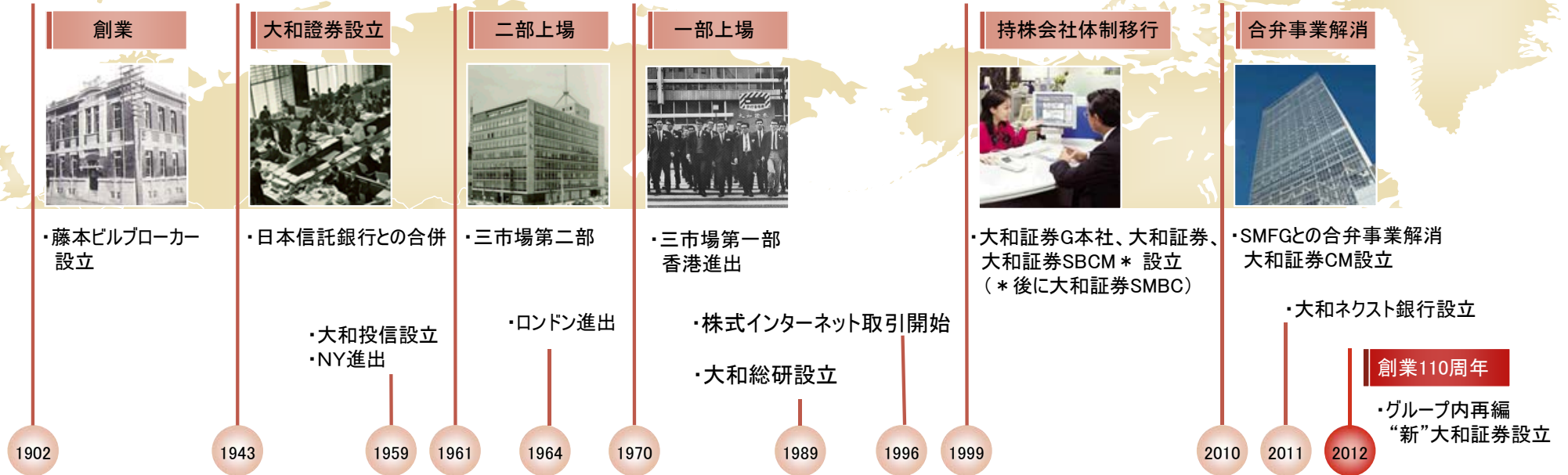
大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.

会社名	株式会社大和証券グループ本社 (証券コード:8601)	 <p>執行役社長 CEO 日比野 隆司</p>
創業日	1902年5月1日	
代表者	執行役社長 日比野 隆司	
所在地	東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウ ノースタワー	
時価総額	1兆3,464億円 (2015年9月末時点)	
従業員数	15,301人 (2015年6月末現在、グループ従業員数)	
預り資産	56.6兆円 (大和証券、2015年6月末現在)	
拠点網	大和証券 国内拠点144店舗、海外拠点20カ国・地域 (現在)	

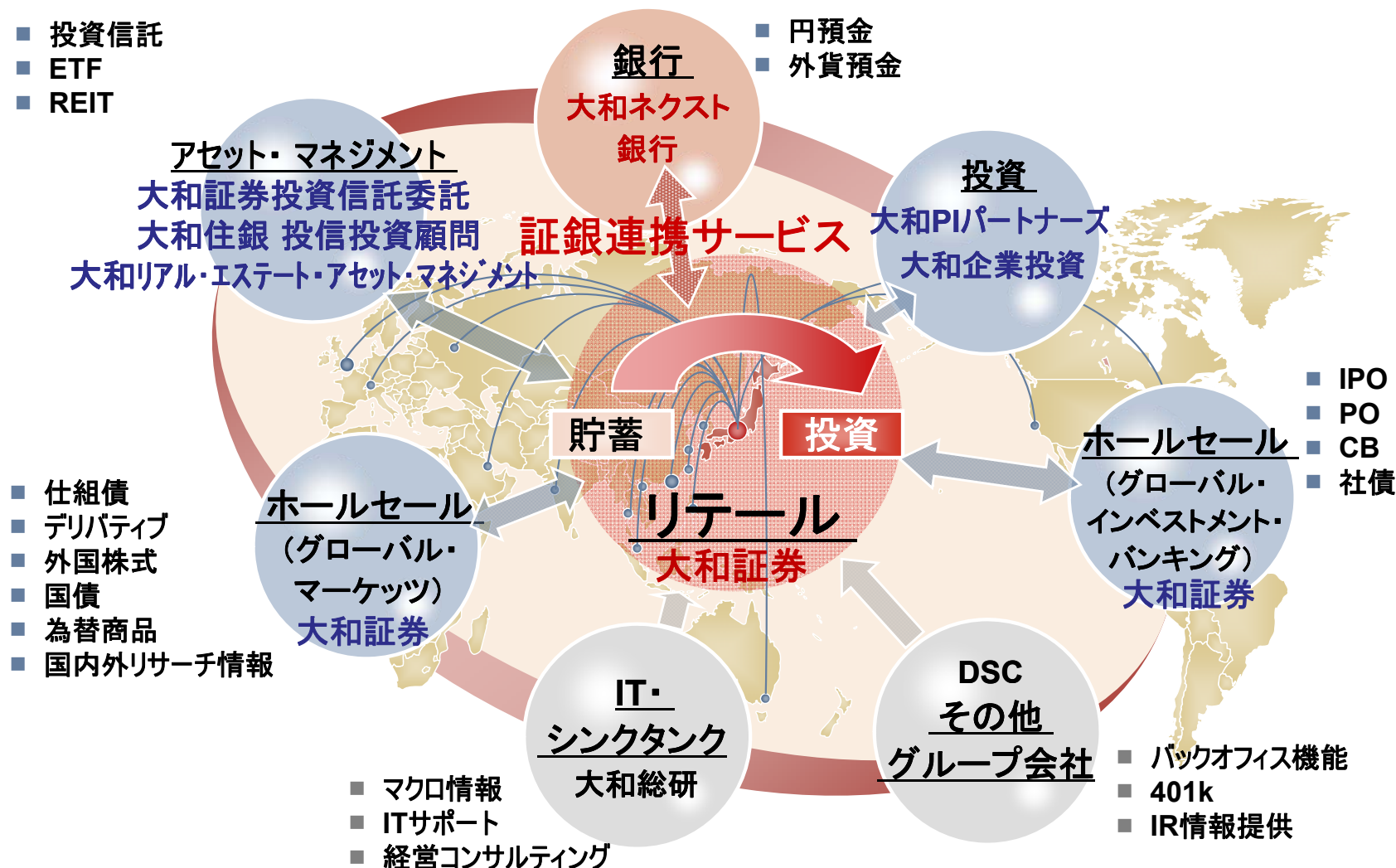
大和証券グループのあゆみ

大和証券グループの113年



大和証券グループの構成

リテール部門を中核に据え、国内外の全部門が「貯蓄から投資へ」のシフトを促進するために連携を強化



Ⅱ. 新中期経営計画

前中期経営計画 “Passion for the Best” 2014

大和証券グループ 経営ビジョン

日本に強固な事業基盤を有しアジアを代表する総合証券グループ

大和証券グループ 経営基本方針

ストレス下でも黒字を確保する強靱な経営基盤の確立 日本とアジアの成長を結ぶことで持続的成長を実現

中期経営計画 “Passion for the Best” 2014 骨子

外部環境に左右されない強靱な経営基盤の確立と新たな成長戦略に基づく健全な成長を目指す

マイルストーン

2012年度 再生 *Turnaround*

2013年度 成長 *Growth*

2014年度 拡大 *Expansion*

中期経営計画
基本方針

I : 効率経営の追求による黒字転換 (初年度に集中して実施)

- 販管費削減計画の着実な実行
- ミドル・バック部門からフロント部門への人員シフトによる組織運営の効率化

II : 顧客ベースの良質な収益拡大

- リテール・AMビジネスへの経営資源投入による国内顧客基盤の飛躍的拡大
～投信・預金残高積上げによる安定収益拡大～
- “新”大和証券の発足を梃子とした収益力強化
～富裕層及びミドル・マーケットへのアプローチ強化～
- ホールセールビジネスの再構築
～顧客フロービジネスの再強化と効率的なグローバルネットワーク展開～

経営目標

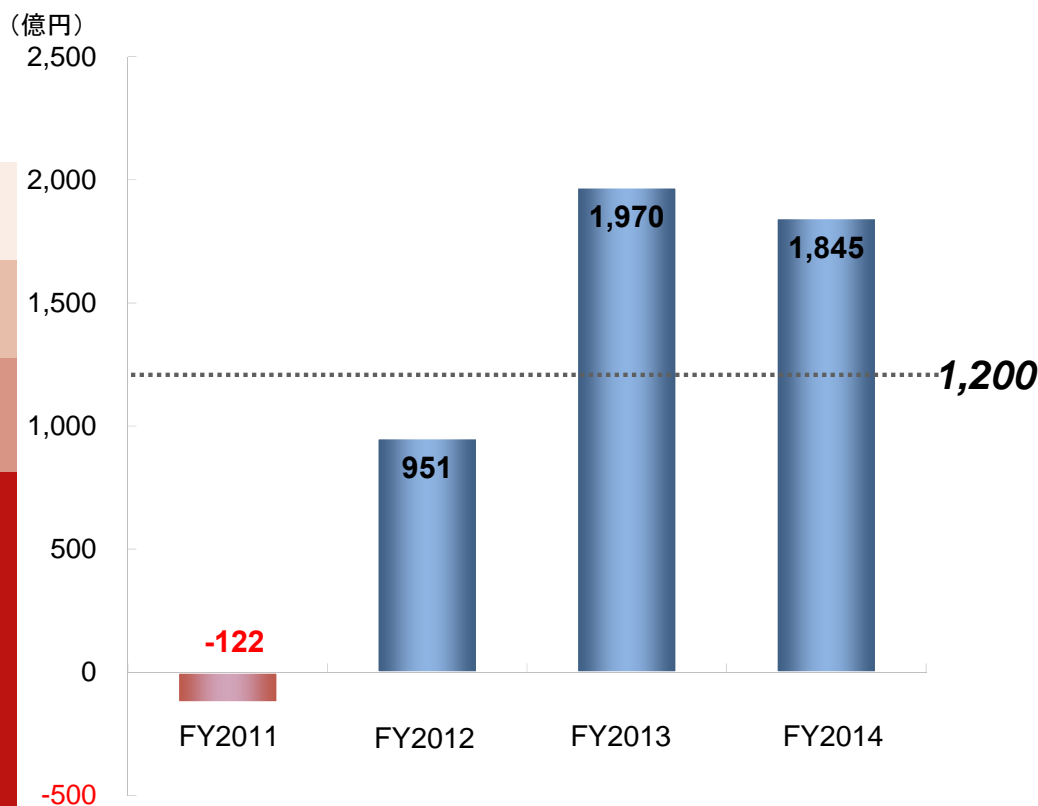
1. 連結経常利益 [初年度] **黒字転換** [最終年度] **1,200億円以上** 2. 固定費カバー率[最終年度4Q年換算] **60%以上**

前中期経営計画の経営目標の達成度

- 連結経常利益目標、固定費カバー率ともに目標値を達成

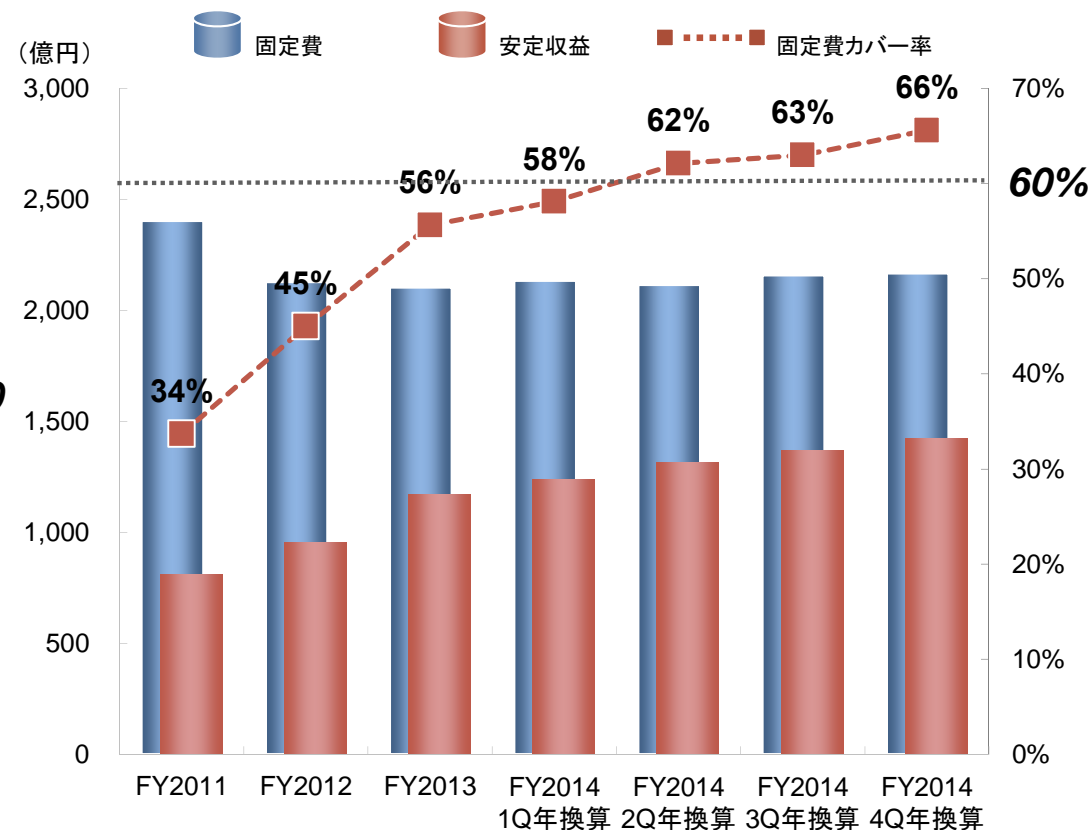
連結経常利益

[最終年度] 1,200億円以上



固定費カバー率

[最終年度] 60% (4Q年換算) 以上



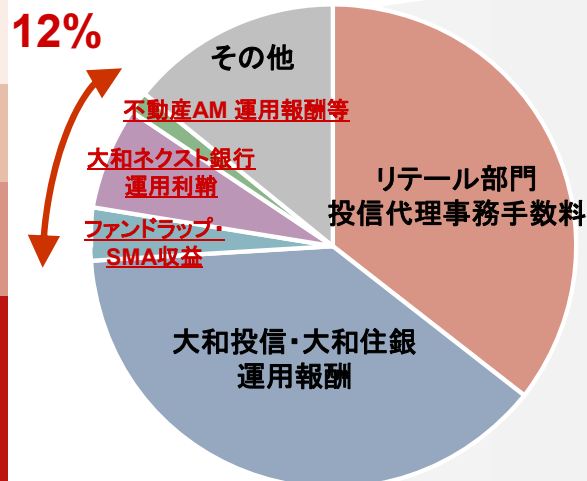
安定収益の拡大・多様化

- 前中期経営計画に沿って安定収益の拡大に取り組んだ結果、安定収益額は約1.7倍に拡大
- 大和ネクスト銀行、ラップ口座サービス、不動産AMの貢献により、安定収益の70%超を占めていた投資信託代理事務手数料、運用報酬への依存度が低下し、安定収益源の多様化が進捗

安定収益額
1.7倍

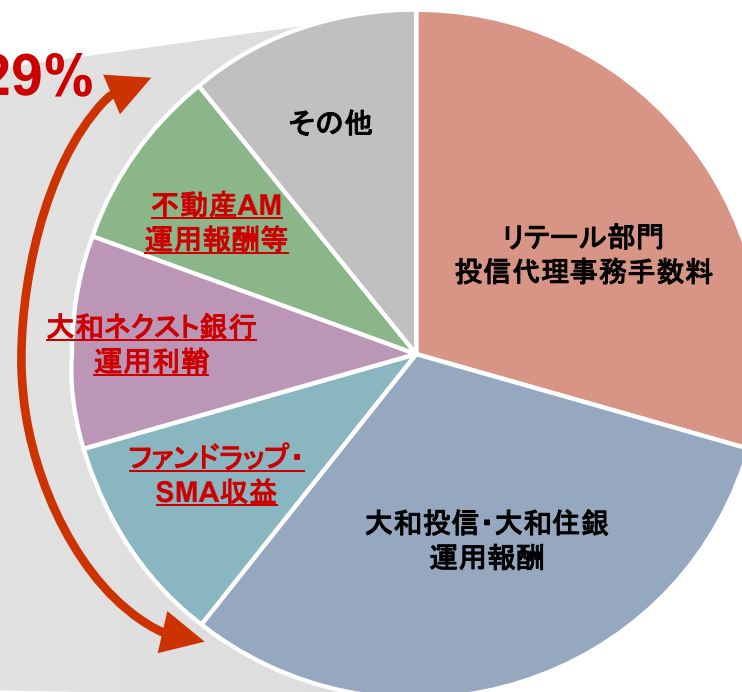
FY2014.4Q

FY2011.4Q



大和投信・大和住銀株投残高合計*	8.5兆円(2012.3月末)→11.0兆円(2015.3月末)
大和証券ラップ口座契約資産残高	2,534億円(2012.3月末)→1.2兆円(2015.3月末)
大和ネクスト銀行預金残高	1.4兆円(2012.3月末)→3.0兆円(2015.3月末)
大和リアル・エステート・AM運用資産残高	3,132億円(2012.5月末)→約4,770億円(2015.3月末)

29%



* 株投残高はETFを除く
 ※ 大和投信・大和住銀運用報酬には投資顧問報酬含む。大和住銀の運用報酬は持分相当を計上
 ※ 不動産AMには大和リアルエステートAMの運用報酬(成功報酬除く)、大和証券オフィス投資法人の純営業収益を含む

新中期経営計画に向けて

「再生(ターンアラウンド)」から「持続的成長」のステージへ

更に強靱な経営基盤の確立

顧客基盤・収益の飛躍的拡大

成長戦略の実行、適正なリスクテイク

強靱な経営基盤の確立

顧客ベースの良質な収益拡大

大和ネクスト銀行預金残高拡大

アセット・マネジメント部門(株投、不動産) 運用資産残高拡大

大和証券 株式投信残高、ラップ口座残高拡大

ホールセールビジネスの再構築

効率経営の追求

販管費削減

フロント部門への
人員のシフト

“Passion for the Best” 2014 (FY2012-FY2014)

“Passion for the Best” 2017 (FY2015-FY2017)

2020年に向けた経営ビジョン

経営ビジョン

日本及びアジアの資本市場の発展をリードし
お客様に最も選ばれる総合証券グループ

経営基本方針

業界No.1のクオリティを礎に
顧客基盤を飛躍的に拡大

日本とアジアの成長を結ぶことで
持続的成長を実現

資本市場を通じて社会及び経済の発展に貢献

新中期経営計画(“Passion for the Best” 2017)の骨子

本格化する“貯蓄から投資の時代”の中で、業界トップのクオリティにより
お客様を惹き付け、ベストパートナーとなる

2015年度

2016年度

2017年度

“貯蓄から投資の時代”をリードする投資サービスの提供

基本方針①: クオリティNo.1の追求

- 幅広い投資家層のニーズに対応する商品・サービスプラットフォームの構築
- 資産運用力の強化
- 高度な専門性を有する人材プールの拡大

基本方針②: 顧客基盤・収益の飛躍的拡大

- 商品・サービスプラットフォームを梃子に幅広い投資家層へのアプローチを強化
- 増大する投資ニーズを捉え、顧客資産・収益を飛躍的に拡大

企業価値向上に資するソリューションの提供

基本方針③: 新規産業の育成と企業の持続的成長に対する支援

- 次世代成長企業の発掘・育成と成長資金の供給
- 企業のグローバル化、M&Aニーズへのソリューション提供

数値目標

① ROE: 10%以上

② 固定費カバー率: 最終年度 75%以上

「貯蓄から投資」と「企業価値向上」の好循環

経営の数値目標

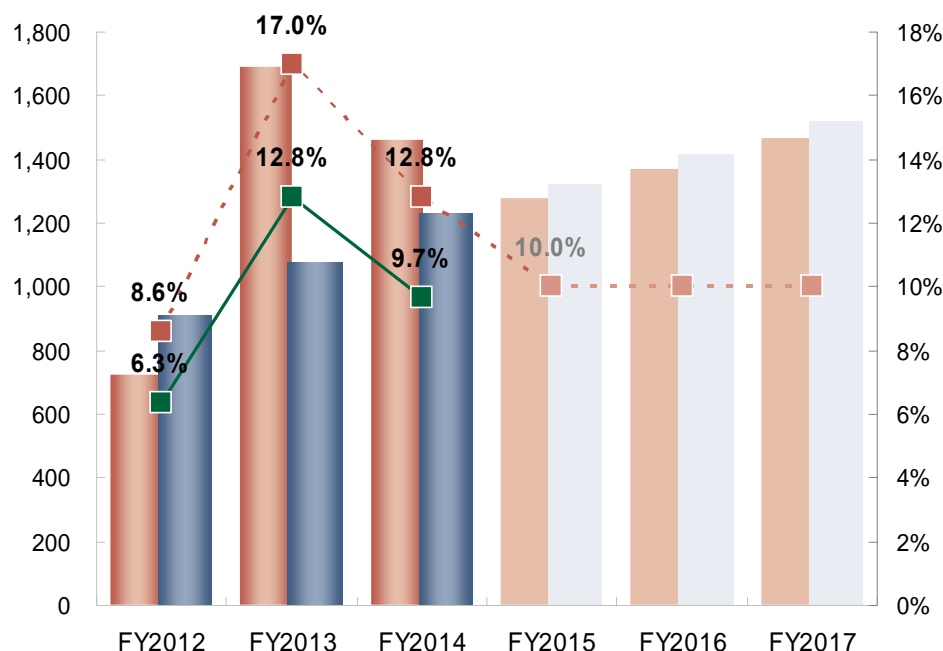


新中期経営計画 “Passion for the Best”2017 数値目標 1. ROE 10%以上 2. 固定費カバー率 [最終年度]75%以上

ROE

- 効率経営を重視した経営姿勢を明確化するため、ROEを目標数値に掲げる
- 投資家が求める水準、日本企業の平均水準、当社の実績を総合的に勘案し水準を決定

■ 純利益 (単位: 億円)
 ■ 自己資本 (単位: 十億円)
 - - - ROE
 ■ ROE (税率平準化ベース)



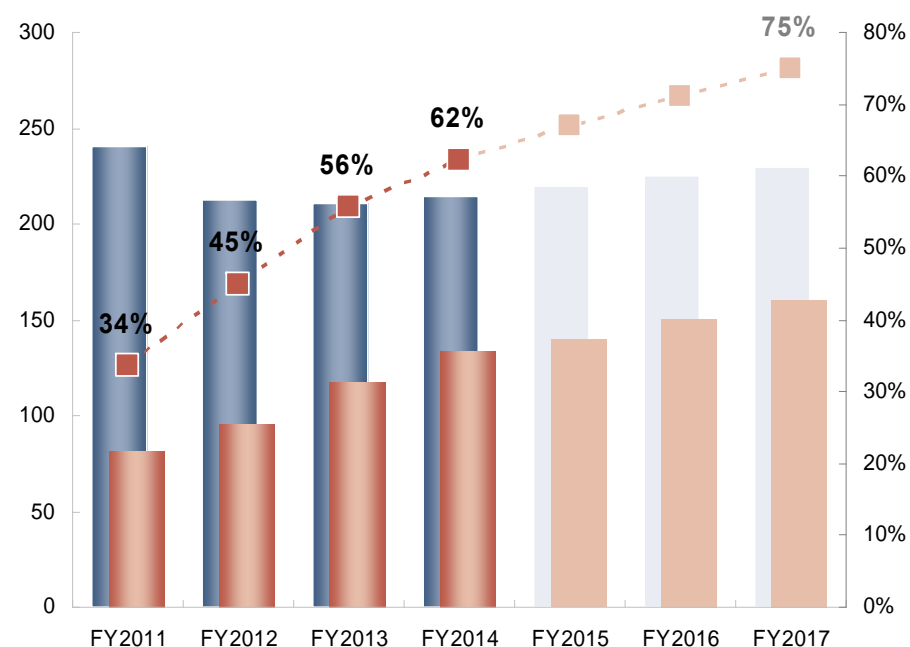
固定費カバー率

- 更に強靱な経営基盤の構築に向け、年平均4%の上昇を目指す

安定収益:

アセットマネジメント運用報酬(投資顧問報酬含む)、投信代理事務手数料、大和ネクスト銀行運用利鞘、大和証券オフィス投資法人・純営業収益、大和リアルエステート・運用報酬、SMA・FW運用報酬、信用取引金利、LMS金利等

■ 固定費 (単位: 十億円)
 ■ 安定収益 (単位: 十億円)
 - - - 固定費カバー率

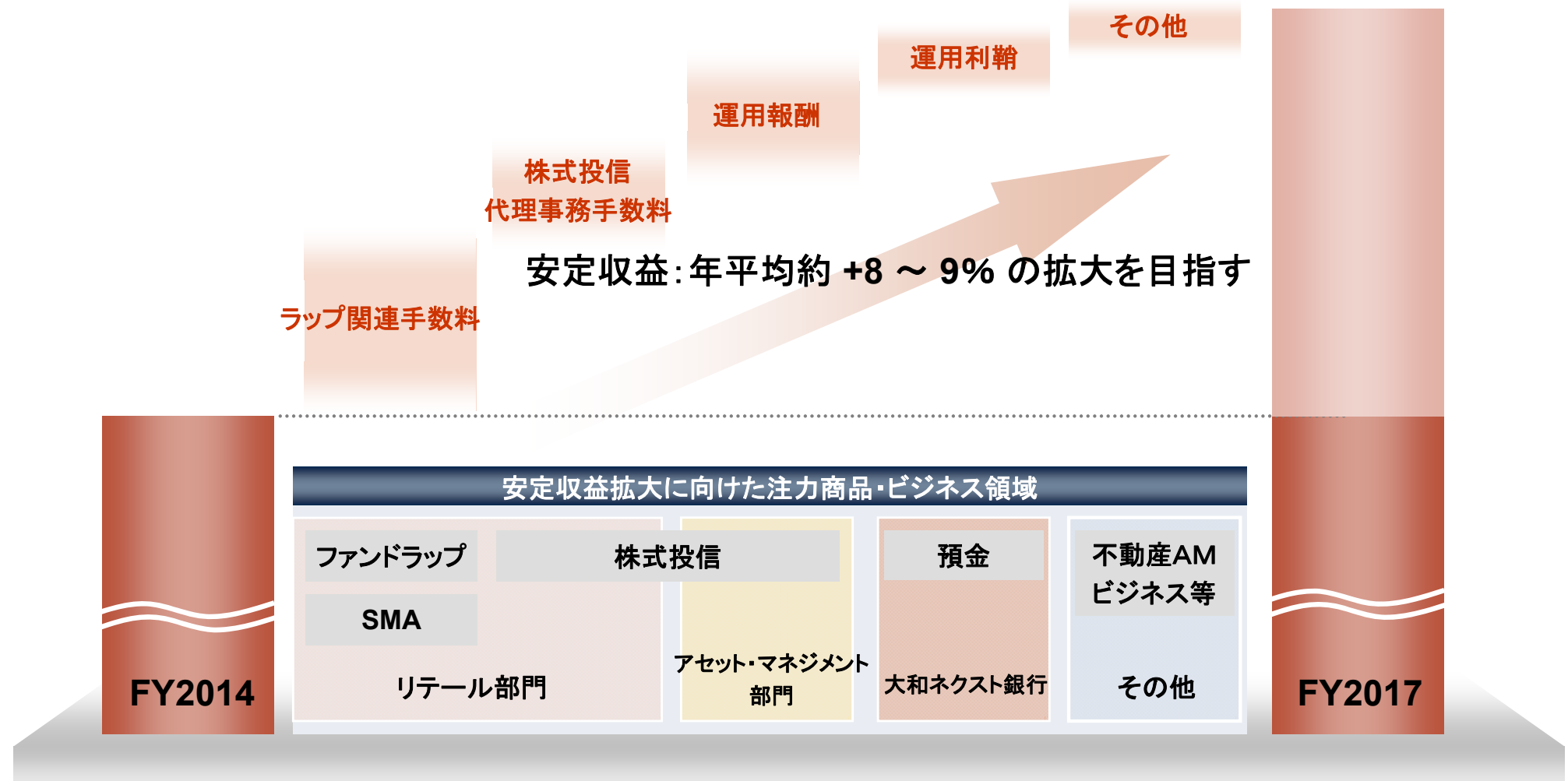


※実績及び目標は年度数値

安定収益増加のイメージ

- “貯蓄から投資の時代”の主力商品であるラップ口座サービス、株式投信の資産残高積上げに引き続き注力し、安定収益の拡大を目指す

新中計期間における安定収益の増加イメージ



Ⅲ. 2015年度第1四半期連結業績

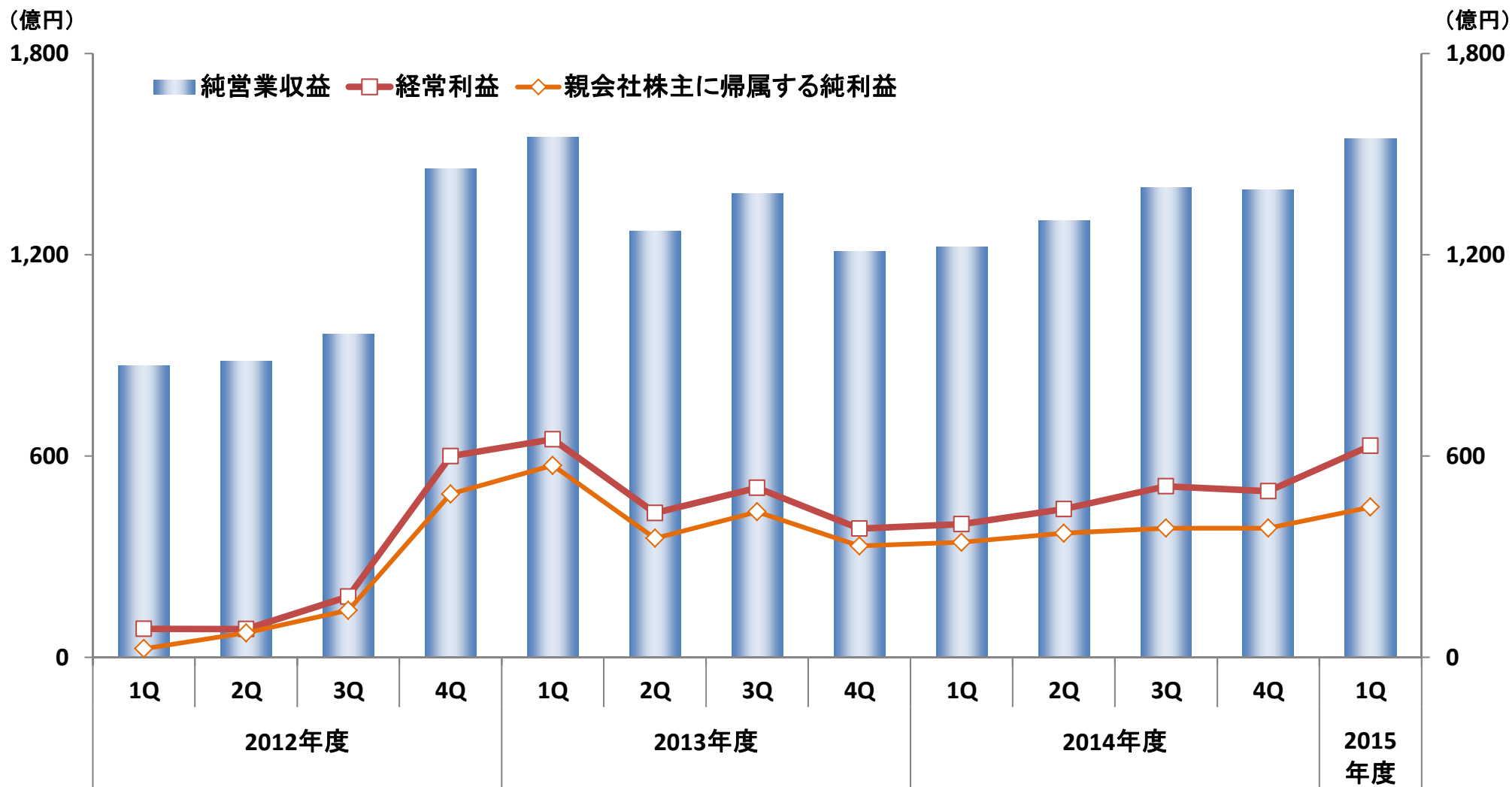
2015年度第1四半期決算概要

- 「純営業収益」は1,546億円、「経常利益」は631億円、最終利益を示す「親会社株主に帰属する純利益」は448億円
- 販売費・一般管理費が前四半期比+2.9%と微増に留まったことにより、「経常利益」は+27.3%の増益を実現

	2014年度 第4四半期	2015年度 第1四半期	前四半期比	2014年度 累計
純営業収益	1,393億円	1,546億円	+11.0%	5,322億円
販売費・一般管理費	929億円	955億円	+2.9%	3,613億円
経常利益	495億円	631億円	+27.3%	1,845億円
親会社株主に帰属する 純利益	385億円	448億円	+16.4%	1,484億円

連結業績推移

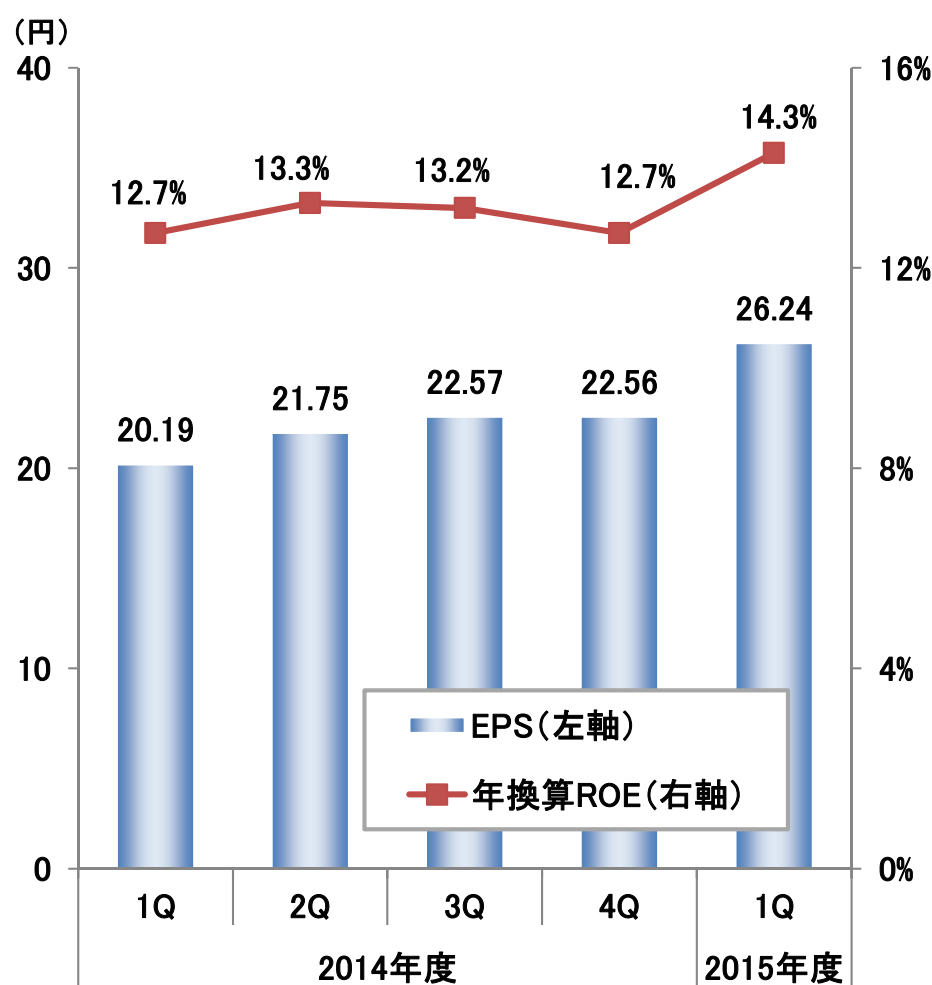
- 2012年度後半からの好調な市場環境という後押しに加え、2011年度より実施してきたコスト削減・安定収益拡大に向けた取組みにより、収支は堅調に推移
- 「親会社株主に帰属する純利益」は、5四半期連続の増益を達成



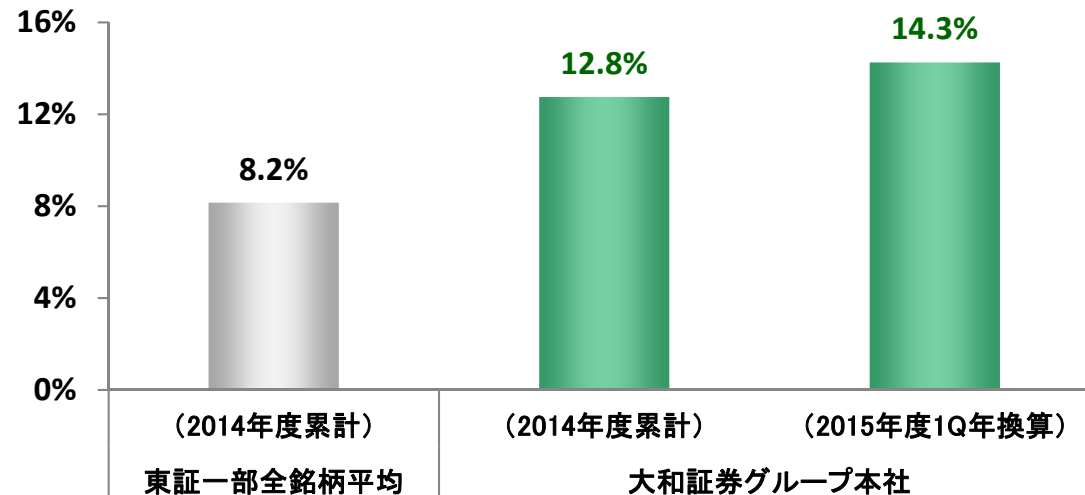
EPS(1株当り四半期純利益)とROE(株主資本利益率)

- **EPS(1株当り四半期純利益)**および**年換算ROE(株主資本利益率)**は前四半期比で上昇
- 配当性向を40%程度に引き上げたことと併せて、引き続き持続的に収益力を高めていくことで、安定した増配基調を目指す

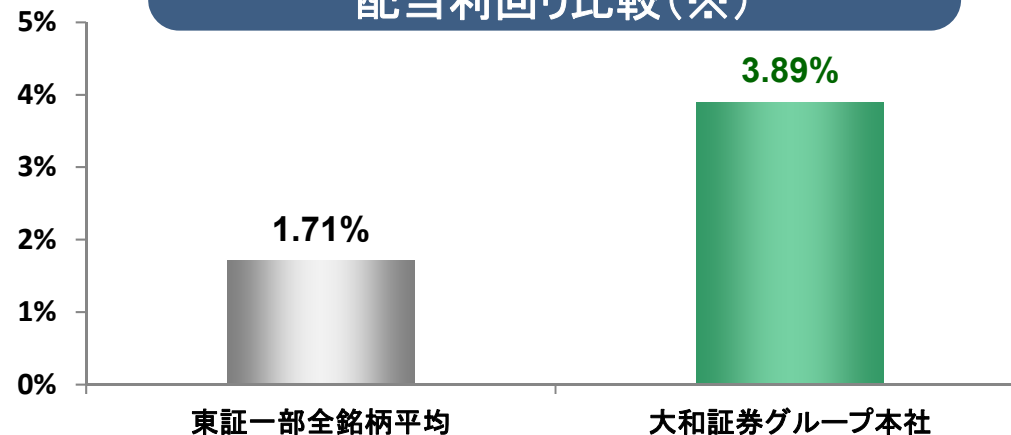
EPSの推移および年換算ROE



ROE比較



配当利回り比較(※)



IV. 資本政策／株主還元

持続的な企業価値向上に向けた資本政策

- 『財務健全性の堅持』、『資本効率の向上』、『株主還元の強化』の最適バランスを図り、持続的な企業価値向上を目指す

財務健全性の堅持

- 国際金融規制強化に対応できる資本・流動性を確保
- 格付の維持・向上に向けた財務基盤を確立
- いかなる環境下においても機動的な成長投資を可能とする財務の柔軟性を確保
- 厳格なリスクコントロールを継続



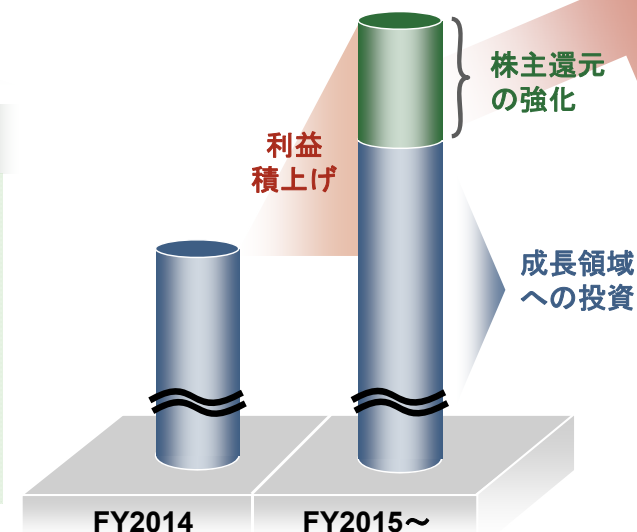
資本効率の向上

- 資本効率(ROE)を重視し、国内外の成長性・収益性の高い事業領域へ適切に経営資源を投入
- 事業ポートフォリオの拡充を通じてリスク分散を図り、資本コスト低減を目指す

株主還元の強化

- 持続的に収益力を高めていくことで安定した増配基調を目指す
- 自己株取得については、経営環境・財務状況・規制動向・株価水準等を総合的に勘案し、検討

自己資本のイメージ



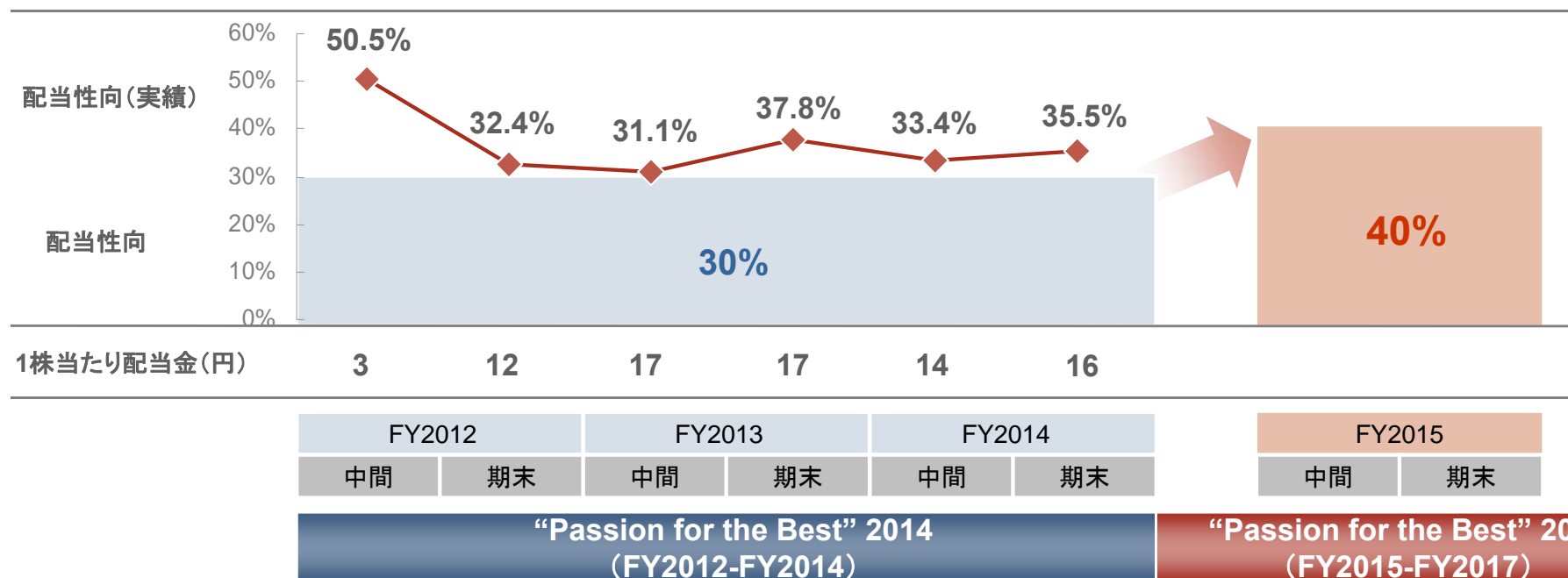
配当政策の変更

- 「財務健全性の堅持」、「資本効率の向上」との最適なバランスを図りつつ、株主還元を強化するため、配当政策を変更し
今年度より配当性向を40%程度に引き上げ

新配当政策

当社は、利益配分を含む株主価値の持続的な向上を目指しております。

配当については、中間配当及び期末配当の年2回配当を基本とし、連結業績を反映して半期毎に配当性向**40%程度**の配当を行う方針です。但し、安定性にも配慮した上で、今後の事業展開に要する内部留保を十分確保できた場合には、自社株買い入れ等も含めてより積極的に株主への利益還元を行う方針です。



株主優待制度

保有株式 1,000株～2,999株	保有株式 5,000株～9,999株
株主優待品(2,000円相当) カタログから 1点	株主優待品(5,000円相当) カタログから 1点
保有株式 3,000株～4,999株	保有株式 10,000株以上
株主優待品(2,000円相当) カタログから 2点	株主優待品(5,000円相当) カタログから 2点
オリジナル壁掛けカレンダー ご希望によりお届け(3月末株主優待時に実施)	

2015年3月末 株主優待の商品例



加賀鶴 飲み比べセット



虎屋ようかん



銀座千疋屋 アイス&ソルベ



サン・ダルフォージャム



アサヒ スーパードライブプレミアム



浅草むぎとろ 茶そば



資生堂パーラー カレー詰合せ



南魚沼産こしひかり



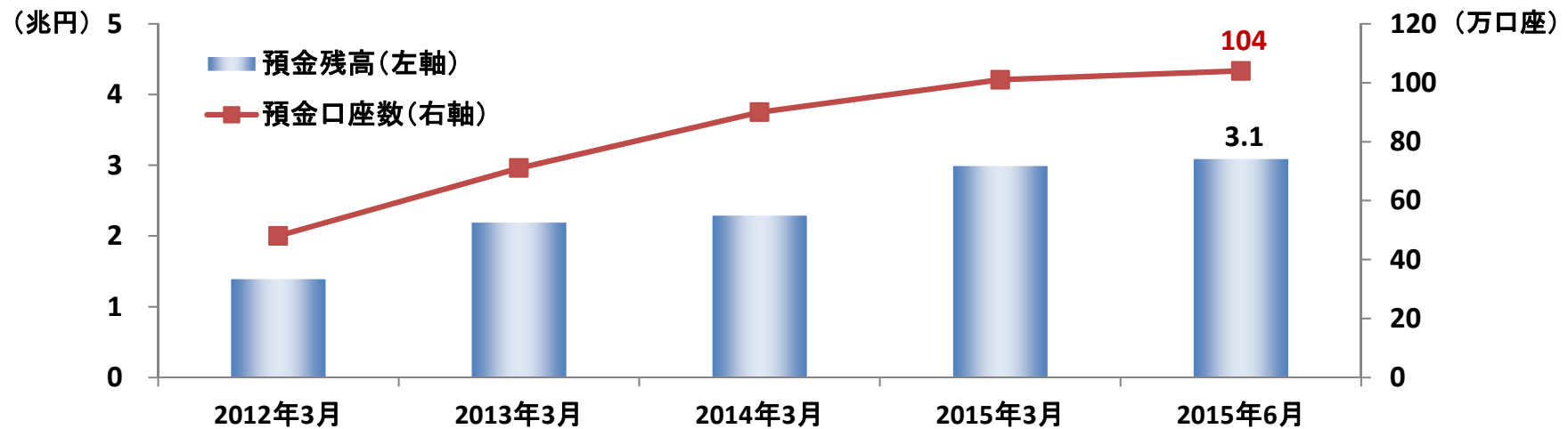
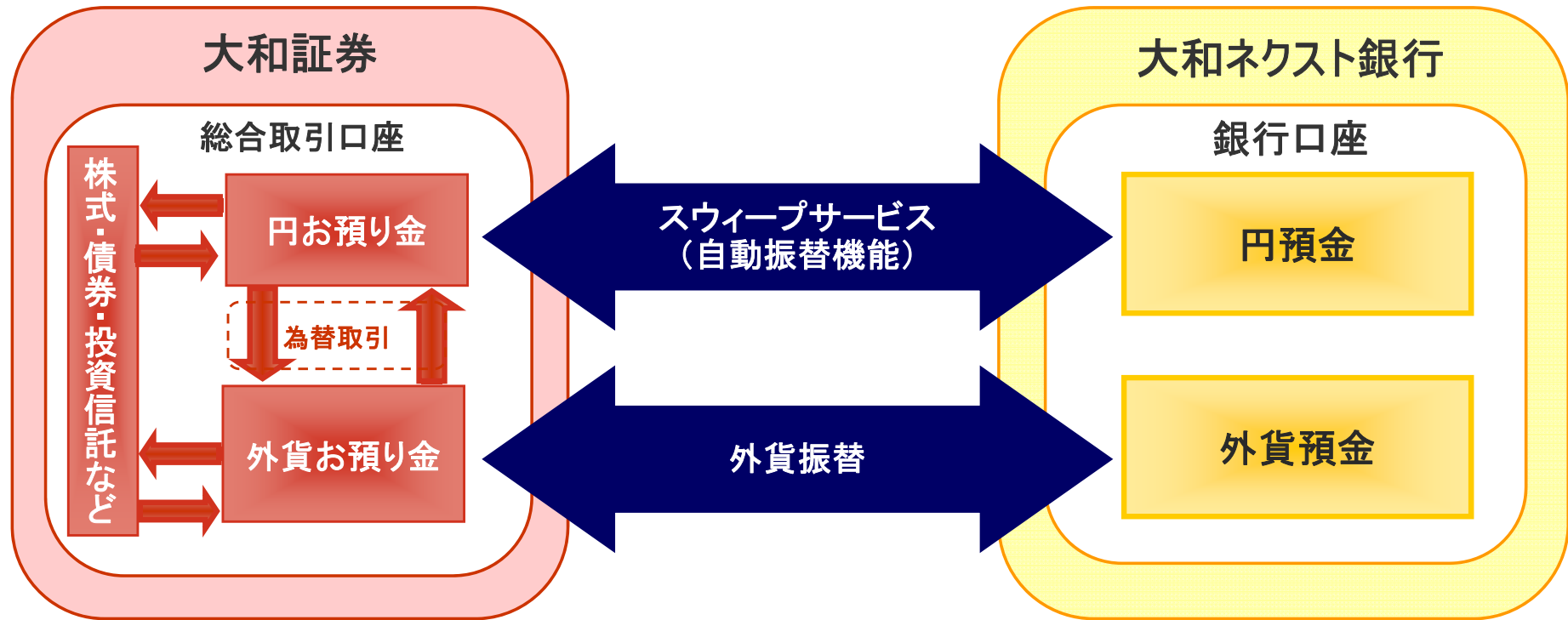
漬け魚詰合せ



ハム・焼豚詰合せ

V. 大和証券グループの独自性

大和証券グループの独自性 ~証銀連携ビジネスモデル~



大和証券グループの独自性 ~人事戦略~

- 「お客様に最も選ばれる」総合証券グループとなる為にも、人材は最も重要な経営資源であり、戦略的な配置と計画的な育成を通じて、より高い組織力を発揮できる環境を整備していく

「女性」の活躍支援

女性支店長・管理職の増加(大和証券)

※ カッコは女性比率

	2005年3月	2015年6月
支店長	3名	19名 (16.1%)
管理職	60名	238名 (8.6%)

女性管理職比率目標(大和証券)

2005年	2020年
2.3%	15%以上

5倍強

「ベテラン層」の活躍支援

「ライセンス認定制度」の新設

いくつになっても、プロとして常に成長し続ける企業カルチャーを醸成するためのインセンティブ制度

『Advanced Skill-building Program(ASP)』

プロフェッショナルとして活躍し続けるためのスキル向上プログラムを大幅に拡充

仕事と介護の両立支援策

将来の生活に不安を感じることなく、生き生きと働き続けられる環境を更に整備

「若手社員」の活躍支援

「ダイワ・ベーシック・プログラム(入社後2年間の基礎教育)」の拡充

ロイヤリティの高いプロフェッショナル人材の育成と、若手社員のリテンションを目的として、教育体制を拡充

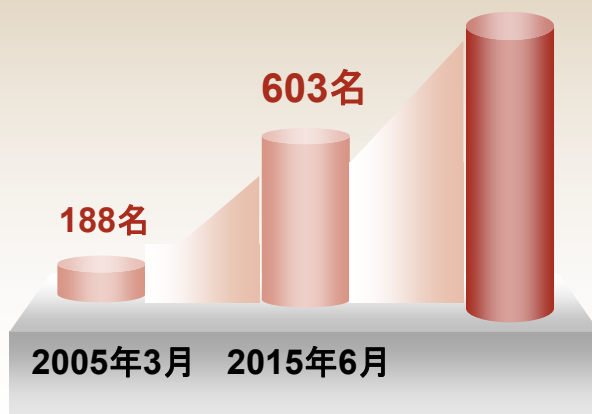
大和証券グループの独自性 ~人事戦略~

- 証券業務に関連する資格取得の支援にも力を入れており、専門性の高い人材を更に増やす
- 人事の取組みと業績との好循環が評価された結果、「なでしこ銘柄」および「健康経営銘柄」に選定される

CFP®*認定者数(2015年6月末時点)金融機関No.1

お客様に対するコンサルティング力の強化に向け、すでに日本の金融機関で最多の認定者数を誇るCFPをはじめ、「相続プランナー」認定や、証券アナリスト資格などを保有する専門性の高い人材を増やすことを目指す

大和証券CFP認定者数推移



「なでしこ銘柄」、「健康経営銘柄」への選定

両銘柄に同時に選出された企業は12社



選定企業:40社

「なでしこ銘柄」は、経済産業省が東京証券取引所と共同で、女性活躍推進に優れた企業を選定・発表する事業



選定企業:22社

「健康経営銘柄」は、東京証券取引所の上場会社の中から、従業員等の健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践している企業を、業種区分毎(1区分で1社)に選定して紹介するもの

大和証券グループの独自性

～より地域に根差したサービスを提供する
ためのプロフェショナル集団～



全144店舗

118本支店
26営業所

(2015年9月末現在)

北海道・東北地区

- ◆札幌支店 ◆釧路支店 ◆青森支店
- ◆盛岡支店 ◆仙台支店 ◆秋田支店
- ◆山形支店 ◆福島支店 ◆郡山支店
- ◆いわき支店

関東地区(東京除く)

- ◆水戸支店 ◆宇都宮支店 ◆高崎支店
- ◆伊勢崎営業所 ◆大宮支店 ◆春日部営業所
- ◆浦和支店 ◆川口支店 ◆所沢支店
- ◆千葉支店 ◆船橋支店 ◆松戸支店
- ◆うすい支店 ◆柏支店 ◆市川営業所
- ◆浦安営業所 ◆横浜支店 ◆横浜駅西口支店
- ◆日吉営業所 ◆戸塚支店 ◆青葉台支店
- ◆鷺沼営業所 ◆相模原支店 ◆川崎支店
- ◆武蔵小杉営業所 ◆藤沢支店 ◆鎌倉支店
- ◆厚木支店 ◆茅ヶ崎支店 ◆横須賀支店

中部・北陸地区

- ◆新潟支店 ◆長岡支店 ◆富山支店
- ◆高岡支店 ◆金沢支店 ◆福井支店
- ◆甲府支店 ◆長野支店 ◆上田営業所
- ◆松本支店 ◆岐阜支店 ◆静岡支店
- ◆浜松支店 ◆沼津支店 ◆名古屋支店
- ◆八事営業所 ◆鳴海営業所 ◆名古屋駅前支店
- ◆豊橋支店 ◆岡崎支店 ◆一宮支店
- ◆津支店

近畿地区

- ◆彦根支店 ◆京都支店 ◆伏見営業所
- ◆大阪支店 ◆梅田支店 ◆北千里営業所
- ◆難波支店 ◆京橋支店 ◆阿倍野支店
- ◆岸和田支店 ◆豊中支店 ◆茨木支店
- ◆堺支店 ◆神戸支店 ◆芦屋営業所
- ◆姫路支店 ◆尼崎支店 ◆明石支店
- ◆西宮支店 ◆奈良支店 ◆和歌山支店

東京地区

- ◆本店 ◆日比谷支店 ◆銀座支店
- ◆新宿支店 ◆仙川営業所 ◆新宿センタービル支店
- ◆上野支店 ◆亀戸支店 ◆新小岩営業所
- ◆五反田支店 ◆武蔵小山営業所 ◆自由が丘支店
- ◆学芸大学営業所 ◆蒲田支店 ◆大森支店
- ◆成城支店 ◆経堂営業所 ◆渋谷支店
- ◆用賀営業所 ◆代々木上原営業所 ◆三軒茶屋営業所
- ◆中野支店 ◆池袋支店 ◆成増営業所
- ◆池袋西口支店 ◆赤羽支店 ◆練馬支店
- ◆石神井公園営業所 ◆千住支店 ◆吉祥寺支店
- ◆永福町営業所 ◆府中支店 ◆国立支店
- ◆立川支店 ◆八王子支店 ◆多摩支店
- ◆町田支店 ◆花小金井営業所

中国・四国地区

- ◆鳥取支店 ◆松江支店 ◆岡山支店
- ◆広島支店 ◆福山支店 ◆下関支店
- ◆徳山支店 ◆山口営業所 ◆徳島支店
- ◆高松支店 ◆松山支店 ◆新居浜支店
- ◆高知支店

九州・沖縄地区

- ◆福岡支店 ◆北九州支店 ◆久留米支店
- ◆佐賀支店 ◆長崎支店 ◆熊本支店
- ◆大分支店 ◆宮崎支店 ◆鹿児島支店
- ◆那覇支店

大和証券グループの独自性 ~証券ビジネスを通じた社会貢献~

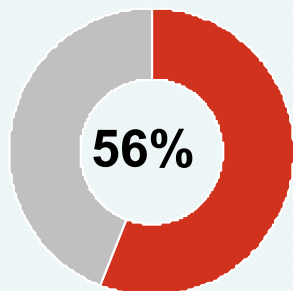
インパクト・インベストメント (社会貢献型投資)

◆ 様々なインパクト・インベストメント債券を販売

- ワクチン債
- マイクロファイナンス・ボンド
- アグリ・ボンド
- JICA債
- エコロジー・ボンド
- グリーンボンド
- ウォーター・ボンド
- 女性の力 応援ボンド
- 中南米 子育て支援債 等



◆ 個人向けインパクト・インベストメント債券のシェア※



大和証券販売額6,167億円

ヘルスケアREIT

◆ 日本の高齢化社会にソリューションを提供

- 2014年1月:「日本ヘルスケア投資法人」設立
- 2014年11月:国内初のヘルスケアREITとして、東京証券取引所不動産投資信託証券市場へ上場

◆ 日本ヘルスケア投資法人の特徴

- 社会インフラへの社会貢献投資
 - 社会インフラであるヘルスケア施設への投資に特化することで、投資を通じて社会に貢献
- 拡大するシニアマーケットへの投資による成長
 - 高齢化のさらなる進展により、ヘルスケア施設への社会的需要は中長期的に拡大することが見込まれる
 - ヘルスケアに関する高い専門性、幅広いネットワーク、資金調達力により、中長期的に運用資産の拡充を図る

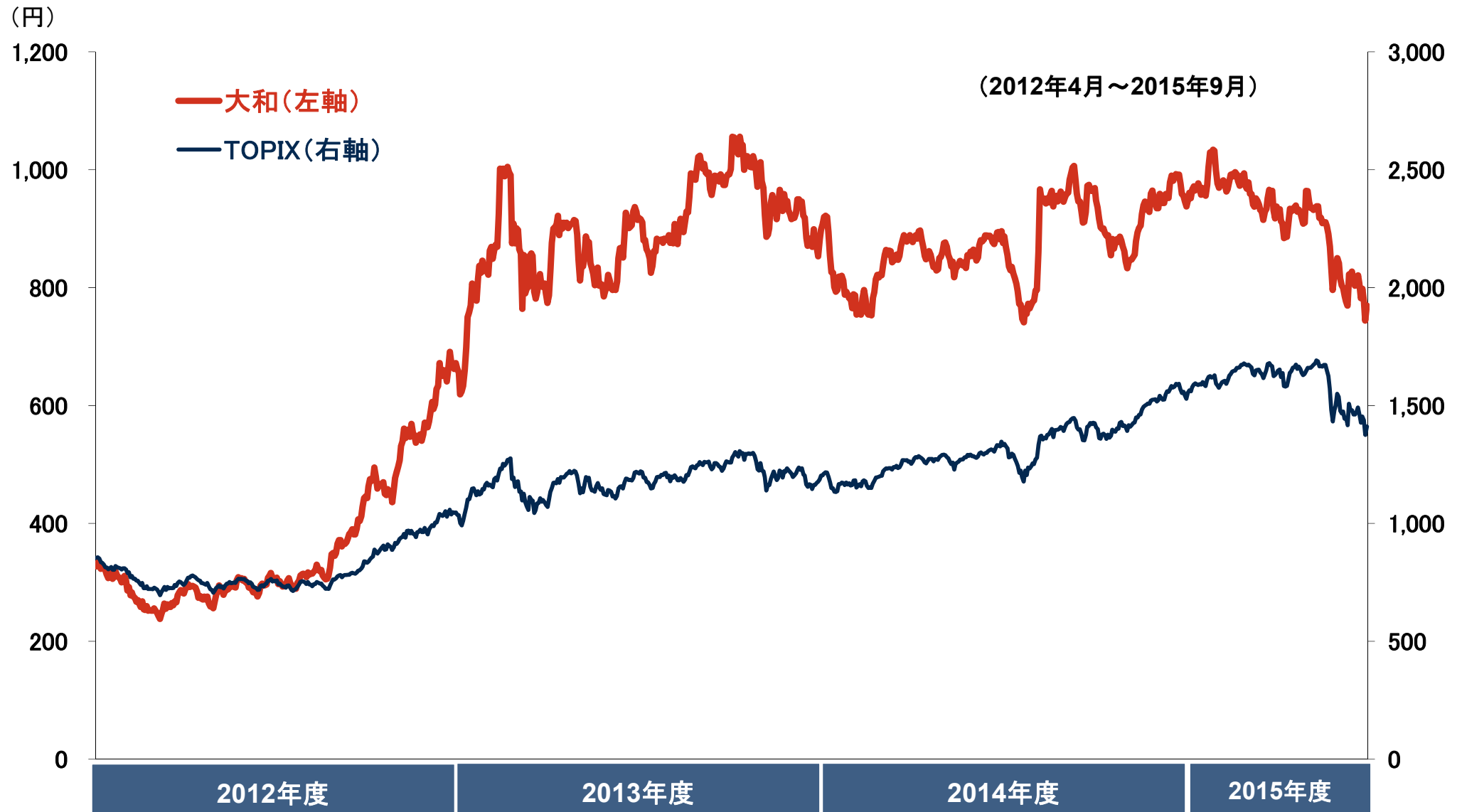


チャームスイート緑地公園(大阪府豊中市)

Appendix

株価推移

大和証券グループ本社(8601) 株価推移



第78回定時株主総会概要①

日時	平成27年6月25日(木) 午前10時
場所	ザ・プリンス パークタワー東京 (東京都港区芝公園4-8-1)
出席株主数	2,329名
所要時間	2時間9分



開会前のアンサンブル演奏の様子



株主総会概要②

株主様からの主なご質問・ご意見

株主総会において質問された株主数 12名

- 政策への期待と今後の見通しについて
- FinTech*への取組みについて
- ミャンマーにおける証券取引所開設に向けた取組みについて
- 若年層の投資家開拓に向けた取組みについて
- キャッシュフローの状況について
- 株主総会の運営について
- 大和証券の商品・サービスについて

* Financial Technologyの略。金融におけるITの活用。



IRサイト(株主・投資家情報)のご紹介

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

English 検索

サイトマップ | FAQ | リンク集 | お問い合わせ 文字サイズ 小 大

ホーム 大和証券グループについて ニュースリリース **株主・投資家情報 (IR)** CSR 採用情報 会社情報

PASSION FOR THE BEST

ホーム > 株主・投資家情報

株主・投資家情報

- 個人投資家のみなさまへ
- ハイライト
- IRカレンダー
- 業務・財務情報
- プレゼンテーション
- 年次報告書
- 株主情報
- 株主優待

株主・投資家情報
Investor Relations

ハイライト

2015.07.29 2015年度第1四半期決算を発表しました
[決算短信はこちら](#)
[決算説明資料・電話会議の録音配信はこちら](#)

2015.05.14 2015年度経営戦略説明会を開催しました
5月14日(木)アナリスト・機関投資家・報道関係者向け経営戦略説明会を開催しました
[説明資料はこちら](#)

2015.05.08 大和証券グループ本社を装うサイトが確認されていますのでご注意ください。

株価
2015/8/26 15:00 JST 日本時間
東証一部 **821.4円**
前日比 +25.3(+3.18%)
(東証：8601) 20分遅れ

社長ごあいさつ
[内容はこちら](#)

更新情報
最終更新日
2015.07.29
[IR資料ダウンロード](#)
2015.07.29
[業務・財務情報\(業績サマリー\)](#)
2015.07.29

個人投資家のみなさまへ

IR資料ダウンロード

ディスクロージャー誌、ビジネスレポート

年次報告書2015
(ディスクロージャー誌)

第78期 ビジネスレポート

大和証券グループ

年次報告書 2015
(ディスクロージャー誌) 2016年3月期

The Customer's First Choice

お客様に最も選ばれる総合証券グループへ

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

株主・投資家の
皆さまへ

第78期 通期

大和証券グループ
ビジネスレポート
2014年4月1日～2015年3月31日

PASSION
FOR THE
BEST